

学生活動支援センターニュース「かえるのうた」

平成 22 年 3 月発行 第 4 号 発行 / 山口県立大学 学生活動支援センター
〒753-8502 山口市桜島 3 丁目 2 - 1
TEL 083-928-3478 (ボランティア窓口直通 083-928-3476)
FAX 083-928-5769 <http://blog.ypu.jp/gakukatsu/>

ボランティア講習会を開催しました

第 1 回 社会に出てきつと役に立つ学生時代にしかできないボランティア活動 ～思いを形に、カタチを活動につなげましょう～

1 2 月 1 6 日 (水)、講師に山本貴広氏 (山口市社会福祉協議会 阿知須支部 事務局長、青年海外協力隊 O B) をお招きして、学習室で開催しました。前半は、ご自身の学生時代の体験、山口市の「協働のまちづくり条例」についてのお話をいただき、それぞれが学生という立場の他に、地域社会の一員であり、市民であることを意識するきっかけとなりました。後半は、青年海外協力隊として赴任したネパールでの活動を中心に、スライドを交えながらお話くださり、参加した学生にとって、日頃学んでいる学問分野とは異なった視点や、海外での活動を知る良い機会となったようです。

* 私が一番印象に残ったこと (感じたこと、思ったこと、驚いたこと) は？ という問いに対する学生の回答 (一部抜粋)

- ・何をやるにも、人と人を繋げるきっかけが重要だと思った。
- ・知識はなくても知恵をひねることが出来る。
- ・自分の専門分野だけでなく、自分の住む地域の一員として、地域に関してももっと知り行動していかなければならないと感じた。



第 2 回 コミュニケーションスキルUPゼミ

1 月 1 5 日 (金)、講師に荒瀬澄枝氏 (山口県協力隊を育てる会副会長、N G O ネットワーク山口副会長) をお招きして、地域交流スペース Y u c c a で開催しました。アイスブレイクでは、初対面の円滑なコミュニケーションメソッドの実践として、お互いの好きなこと、こだわりを詳しく書いた紙を見せ合いながら話をする偏愛マップによって、初対面でもすぐに意気投合し、会場内は一気に笑顔であふれました。

その後、海外からのボランティア受け入れを検討する事例を取り上げ、グループに分かれて英語教師、社会福祉協議会職員などさまざまな役割を演じながら、ディスカッションを行いました。スタディーツアーや交換留学など、海外で生活した体験がある学生、今まさに海外から来て日本で暮らしている学生もおり、そういった体験があるからこそその意見も出ていました。

今回は、海外からの受け入れについての事例を中心としていましたが、身近なところでも気が付かないうちに、他者に受け入れてもらうことのあるがたさ、相手がどのような配慮をしているのかなど、相手に対する気付きに繋がる内容でした。



学生スタッフ制度

受験生おもてなし (前期・後期入学試験)

試験当日、大学の最寄り駅である J R 宮野駅にて、受験生の荷物預かりや保護者へのお茶の接待などをしました。学生スタッフは「受験生を応援したい！」という気持ちから応募し、受験生や保護者からの大学生活に関する質問などに答えて、不安を軽減して少しでもリラックス出来るように努めました。



～平成 21 年度 後期の学生スタッフ活動～

- ・「医学」(基礎科目)の授業に係わる支援 (10 月～ 2 月)
- ・学生による駐輪・駐車マナーアップ活動 (11 月)
- ・山口県立大学 G P 合同フォーラム運営補助 (11 月)
- ・マルチリンガル・スピーチコンテスト (12 月)
- ・放置自転車判別のための全自転車への札付け
- ・受験生おもてなし (前期・後期入学試験) (2・3 月)
- ・平成 21 年度卒業式運営補助 (3 月)

ほか